

佐和36点圧勝

佐和36-0海洋

挙げるなど存在感を発揮した。

【評】佐和が大量得点で圧勝した。初回から、松田の2本の適時打など打者24人の攻撃で21点をもぎ取り、一気に試合を決めた。二回以降も着実に加点し、この試合18安打36得点。落合が5盗塁を記録するなど機動力も光った。投げては木村、松田の継投で5回1安打無失点と盤石だった。

海洋はバッテリー間や内外野のミスが多く、リズムをつかめなかった。

松田、パワー発揮
初回到長打2本

⑩：佐和の投打の柱、松田侑大（3年）が持ち前のパワーを生かし、初回到2本の長打で3点を

第1打席は「ひたすら強い打球を意識した」と、遅い球を引きつけて中堅手の頭を越す適時三塁打とした。続く打席でも中越えの2点適時二塁打を放った。

⑪：海洋の安田翼投手（3年）は、猛攻を受ける中で「暗い顔をして



海洋―佐和 1回裏佐和無死三塁、松田が中越え適時三塁打を放つ。ひたちなか市民

いいことは起きない」と笑顔で投げ抜いた。

初回、唯一の同級生の先発・飛田后（同）が19点を失い、2死満塁で救援。「飛田の代わりに終わらせる」と意気込んだ。連打を許し、さらに2点追加されたが、最後はフ

オークで三振を奪った。二回以降も失点にめげず腕を振り続けた。

高校から野球を始め、部員の少なさに悩まされながらも、飛田と切磋琢磨してきた。「もっと試合をやりたかった」と涙を浮かべた。

◇ひたちなか市民＝第1試合

▽2回戦

海 洋 000000 0
佐 和 21915x 36

（5回コールド）

▽三塁打 松田、堀江
▽二塁打 松田、千賀、川崎、田上、清滝、木村
▽暴投 飛田8、安田4
▽捕逸 原田11
試合時間 1時間49分
▽審判 竹林正、高橋、青野、窪田

海	洋	打	安	点	振	球
⑥1	安田	2	0	0	1	0
③8	飛田	1	0	0	1	0
①7	福原	2	0	0	1	0
②6	井田	1	0	0	1	0
④8	堀田	1	0	0	1	0
⑤H	小松	1	0	0	1	0
⑨5	併失	1	0	0	1	0
犠0	盗9	0	1	1	0	2

佐	和	打	安	点	振	球
⑨8	落杉	3	1	0	0	3
⑦H	田堀	1	1	0	0	0
③H	松千	1	1	0	0	3
⑥7	川清	2	2	4	0	0
②5	水佐	4	2	2	0	1
H3	北吉	3	1	0	0	0
DH	松小	1	0	0	0	0
H5	黒木	1	0	0	0	0
H4	村優	1	1	1	0	0
犠2	併失	1	1	1	2	0
	盗15	0	2	3	1	1

投	手	回	数	打	安	振	球	失
飛	田	3	2/3	21	6	0	11	19
安	田	3	1/3	29	12	1	4	17
木	村	4		13	1	6	2	0
松	田	1		3	0	3	0	0